

## インド・カルコダ工場第二ラインで生産開始



\*写真の左側がカルコダ工場第二ライン

スズキ株式会社のインド四輪子会社マルチ・スズキ・インディア社は、2026年5月18日よりカルコダ工場第二ライン（生産能力 25 万台）での生産を開始しました。第二ラインでは、SUV の「ビクトリス」を生産します。これにより、カルコダ工場の総生産能力は 50 万台になります。

現在、スズキはインドでグルガオン工場、マネサール工場、ハンサルプール工場、カルコダ工場の 4 つの生産拠点があり、今回のカルコダ工場第二ラインの稼働開始により、インド国内の生産能力は 265 万台となります。今年度上期中の稼働開始に向け準備を進めているハンサルプール第四ライン(生産能力 25 万台) を合わせると、生産能力は 290 万台に達する予定です。

2025 年度、マルチスズキの生産台数は 234.7 万台に達しました。インドからの輸出台数においても、アフリカ、日本、欧州向けを中心に 44.8 万台（前年比 135%）に増加し、生産・輸出台数共に過去最高となりました。

スズキは、インド国内の需要の伸びに対応するとともにグローバルな輸出拠点としても拡大させるため、インドでの生産能力増強を進め、引き続き年間 400 万台体制を目指してまいります。

### ○カルコダ工場概要

	第一ライン	第二ライン
所在地	ハリヤナ州 カルコダ	
年間生産能力	25 万台	25 万台
稼働開始	2025 年 2 月	2026 年 5 月
生産車種	プレッツァ、ビクトリス	ビクトリス

以上